

目次 東大科哲の会誌「科哲」第22号

■ 巻頭言		
コロナ禍の、中心的ではないが気になるいくつかの問題	丹治 信春	2
■ 特集：流行		
病気の流行	村上 陽一郎	7
コロナ・パンデミックが残したもの	石 弘之	11
新型コロナと「不易流行」	金子 務	19
核ゴミ、コロナ風邪、厄介者	佐竹 誠也	25
SFに描かれた中世のペスト禍	小倉 勝男	27
ほんとうに言ったの？ 科学史の中の「流行語」	武部 俊一	29
二条河原落書	山崎 昌男	33
コロナ禍の中の新日常	上野 紘機	35
■ 文化功労者顕彰に当って	伊東 俊太郎	40
■ 特別寄稿		
地球大の数学史をめざして	佐々木 力	41
■ 追悼		
科学的誠実さを追求した核物理学者横井敬先輩	金子 務	47
回想 — 遺稿	横井 敬	48
科哲の理念で実利の世界のトップまで登りつめた田代圓君	鈴木 邦彦	51
果敢な挑戦を繰り返された丸山瑛一さん		
若い木から聳えたつ大木へ	木村 絹子	53
産業界の視点を持ち続けた大先輩	多羅尾 良吉	55
日英プロジェクトの追想	住田 友文	59
■ 私の編著		
私の最後の仕事	竹内 敬人	61
「色のふしぎ」と不思議な社会 — 2020年代の「色覚」原論	川端 裕人	64
■ 科哲同人近著		70
■ 報告		
研究室の近況	橋本 毅彦	71
教員・卒業生の近況		74
総会・理事会・諸活動の報告		77
同窓会連合会・交友会報告		77
会計報告		78
■ 理事会からのお願いとお知らせ		80
■ 会員役員名簿		81